



## 秋は活動の季節

東京とはいえ（かなり山に近い）郊外にあるここ青梅では、朝夕は涼しいというより冷え込むようになりました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

「秋」はまさに勉学の秋と言えます。けやきの活動も活発に行われています。

9月26日の例会に続いて、10月3日の自主グループけやき八王子の講演会などこの後のページに詳しく報告されていますのでご覧ください。

また大きな行事では、10月10日に自主グループ Wing が、日本 LD 学会第18回大会にて自主シンポジウムでキャリア教育の実践について発表しました。同大会では、東京の親の会がポスター展示や書籍販売・懇親会の企画と窓口の担当になり、けやきの会員にも随分お手伝いいただきました。あらためてお礼申し上げます。

部会や自主グループのそれぞれの予定や11月例会など、まだまだ活動の秋は続きます。ぜひご参加お願いいたします。

会長 三輪覚子

### 11月例会・講演会のご案内

日時 11月28日（土）13：30～17：00（受付開始13：15より）

場所 国分寺労政会館 第5会議室

◆JR 中央線国分寺駅南口より徒歩5分

内容 講演・テーマ「進路について考える」

講師・東京家政大学・家政学部・児童教育学科准教授 半澤 嘉博 氏

申込・問合せ（氏名・所属・連絡先明記の上、下記へ）

Eメール keyaki@box.club.ne.jp

FAX 020-4666-7443

## 7月・例会に参加して

日 時 平成21年7月25日(土) 午後1:00~4:30  
会 場 都立多摩社会教育会館・302研修室  
テ - マ 「発達障害の生徒と親によるキャリア教育の実践」  
~LD親の会けやき(Wing)の取り組み~  
アドバイザー 神奈川県立保健福祉大学教授 松為信雄氏

今回「けやき」側からは新堀さん、小形さん、継続して支援してくださっている外部ボランティアとしては庄司さんの計3名によるシンポジウム形式で例会が進められました。

私自身は子供と共に、このキャリア教育を受けている内部の者なので、各シンポジストの方の発言は、今まで学んだことを整理し、プログラムの意味を再確認するよい機会となりました。専門家やボランティアの支援を受けながらも、親が主体的にプログラムを企画し、運営する親子同時参加型のキャリア教育講座はとても珍しい、とのことでした。具体的に今までどのように運営してきたか、何をしてきたのか等は7月例会資料をご覧ください。

ごく普通の親が日々の生活をこなしながら、プログラムを企画、運営し、なかなか言うことをきかなくなっている思春期真っただ中の中・高生を連れて、土曜（あるいは日曜）に講座に参加する、というのは確かに根性がいらします。また、情熱的で素晴らしい専門家・ボランティアの方々の支援、すでにお子様成人している「けやき・Wing事務局」の方々の精力的な活動があって続けられた講座であったとも言えます。でも、「子供が在学中から系統的な職業教育・進路指導を受けさせたい」という強い気持ちの親が何人か集まれば、不可能ではありません。くじけそうになることもあります。これからも前を向いて皆で頑張っていこうと改めて思った一日でした。

Y. A



早いもので、わが息子も中学生になり、これから先の就労についても考え始めなければいけない年齢になって来ました。

今回の例会に参加して、毎日の学校生活だけで一杯一杯の日々を送っていましたが、改めて就労に向けての意識を持たなければと強く感じました。Wingのキャリア教育プログラムで親子で学ばれてきた方のお話を実際に伺うことができ、とても参考になりました。

まずは、親が学び、就労についてどうやって子供と一緒にかわかっていったらよいかを考えていきたいと思えます。これからもWingの活動を期待しています。

Y. K

## 9月・例会報告

9月26日(土)午後2時より、東京都多摩障害者スポーツセンター集会室にて、9月例会を開催しました。今回は「話し合える例会～将来働くために今できることを話そう～パート3」をテーマに、教育から就業への移行と就労継続について話し合いました。

就労部会の新堀代表に、全国LD親の会で調査した移行報告書から見えてきた全国的な傾向を就労種別に解説していただきながら、今回アドバイザーとしてご参加くださった小平市障がい者地域自立生活支援センター「ひびき」の澤口節子係長とともに、問題点や課題について意見交換することができました。

澤口係長には、センターでの実践の事例も交えていただきながら、センターの役割や目指しているもの、そして親への願いなどをお話していただきました。

就労継続については、自分の困っていることがわかるようになると、それに対しての具体的な対策が見えてくるし、職員と一緒に考えていくうちに会話ができるようになった例も聞かせていただきました。

参加した会員からも、一般の人より長い目で見守る必要性や、出来ていない事は年齢に関係なくやらせる(教える・経験させる)という意見もあり、対する親の心の中に余裕や柔軟性が求められているように感じました。

最後にアドバイザーからのメッセージとして、けやきの会員のお子さんたちには、今後の長い人生の中でいろいろな困難に向き合うことがあって、落ち込んでしまったり、引きこもってしまうことがあるかもしれないが、親は常に外に向かって出て行って(支援の窓口に向かって)ほしいし、会の仲間と繋がってほしいとのお話をいただきました。

### 参加者の感想



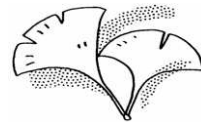
◆現在高校一年生で、特別支援学校・高等部に在学中です。中学校では特別支援学級にいましたが個別の支援ではなく、高等部に入学して初めて個別支援というのを知りました。企業体験、校内実習を通して職(働く、仕事を持つ)について学ぶことも多く、手帳のあるなしを別にして、企業・作業所の受け入れ先があることがわかりました。個人企業の場合はどうなのかと思いますが、一対一のコミュニケーションしかないと思いました。

◆時間をかけてゆっくりのんびり育つまで「待つ」姿勢も大事かなと再確認いたしました。人とのつながりを大切に考えていきたいです。

◆自分たち親子が、今抱えている問題にいろいろな角度からアドバイスしていただき、本当に親の会に在籍していることの意義を実感できた半日でした。

◆今回初めて例会に参加させていただきました。本や論文を読んでいるだけでは知ることのできなかつた、ご家族の意見を直接聞くことができ大変勉強になりました。特に就労の話は、法律や景気等の影響を受けて変化していくものなので、今現場では何が起きているのか、どのような問題があるのかを聞くことができたのは、とても貴重な経験となりました。(大学生)

## 就労部会



### 「成年後見制度 基礎講座パート2」開催

9月15日(火)、多摩障害者スポーツセンターで「任意後見とその周辺の諸問題」をテーマに、勉強会が開催されました。講師は前回のパート1に引き続き、みなみ野学園学習塾・主宰の佐々木正彦先生にお願いしました。

まず先生から課題として①誰に託すか②本人が受け入れられるかの2点が示されました。「補助」の対象となる可能性の高い発達障害のある人においては、任意後見制度(本人の申し立てによる、あらかじめの契約)を理解しておくことは、とても有効だと思いました。「制度を利用する」ということは、すぐ今日明日のことではないですが、将来的に「自立」をめざすために、誰かに託す経験の一つと考えていいのではないかという先生のお話に共感しました。

①よき理解者をつくる②本人の自己肯定感(自己理解)③時間と経験の積み重ねという内容は、まさに就労部会のテーマとして取り組んでいるものでした。

### 「成年後見制度」を学習して

近頃私の子ども(25歳・男・就労中)は「自立」の二文字をよく口にします。どうやら家に居ると親からうるさく言われるのがいやだからでしょう。家から出て一人で暮らすと言う事がどんなことか、どう言う事が出来なくてはいけないのか分かっていません。しかし考えてみればいつまでも親と暮らしていけるわけにはいきません。

親に体力や気力のあるうちにすったもんだを繰り返しながらも自立の道を探り、親亡きあと本人が行政はもちろん他人の力も借りながら生きていけるようにしたいです。自立は自力と他力を上手に組み合わせて生活していく事であり取り組みを先延ばししては問題は解決しません。自立生活の為の「サポートチェック表」で何が出来て何が出来ないのか、本人に何から取り組ませればいいのか重点を決めて話し合おうと思っています。親の我慢と忍耐が必要かもしれませんが理屈だけでなく体験や経験を繰り返す中で自力がつけばいいと思います。

他力生活の為には成年後見制度(後見・保佐・補佐)の活用は避けては通れませんが就労部会での2回にわたる勉強会は具体的に考える材料として参考になりました。現在親が本人の為にやっている事で法的に見れば後見人の資格がなければやってはいけないことが沢山あります。本人とも相談しなくてはなりません、子どもの将来を誰に託すのか頭の痛い問題です。誰を後見人を選ぶのかお金がいくらかかるか、今度は具体的な事例なども参考に勉強できればいいと思います。全てが自己責任の間われる国日本、生き抜く為には「どうすりゃいいのさ障害者」の思いでいっぱいです。

光長信義

## ■部会報告・教育部会■

### 教育部会

新年度に入り新規の部員さんを迎え11名の活動となりました。お子さんは小学生高学年から高校生までの幅広い年代におよびます。年齢、地域等々で課題はそれぞれですが、皆で話し合うことでよい知恵や行動力が生まれるようです。今年度の新たな活動のひとつに進路を「親の会」として見学していこうと考えています。また、例会での教育関係の専門家の講演時に事前に自分たちの知りたいこと等を質問事項として考えお伝えしていき、「自分の子どもに役立つ親の勉強」にしていこうと考えています。

#### 【活動報告と今後の予定】

\*7月11(土)・顔合わせをかねたランチを新部員さんのお話を聞くことを中心に行いました。小学校での「特別支援教育」のひろがりにともない、中学校でのギャップの大きさ、支援の必要性があらためて考えさせられました。住居地が広範囲に及ぶため地域格差も大きいのですが、逆にいろいろな地域の情報を入手することで、新たな支援へのつながりも生まれると思います。

\*10月24日・ランチ

\*11月中旬・横浜アカデミー高等部・町田校（駿台甲府高等学校技能連携校）  
見学  
伊原

## ■自主グループ報告・おやじの会■

### おやじの会

LD学会・大会の10月11日には、各地から参加された親の会の方々との懇親会を準備し、JR武蔵小金井駅近くの居酒屋で開催しました。けやきでの懇親会は専ら「おやじの会」の役目で、この全国親の会の懇親会も「おやじの会」が担うことになりました。当初は国分寺駅周辺でと考えましたが、意外と参加人数に見合う適当なお店がなく、結局学芸大学からバス便がよい武蔵小金井駅の近くで会場を探すことになりました。今、武蔵小金井駅の周辺は開発が進み様変わりしていますが、その中で明るい感じの人数的にもまとまって座れる居酒屋に決めました。参加者は遠くは鳥取、徳島、兵庫などの親の会の皆さんを初め9団体24名の方の参加が有りました。冒頭、全国LD親の会理事の内藤さんからご挨拶と乾杯を頂き、次いで出席された各会からもお話しを伺い、懇親を深め有意義に予定の2時間を過ごすことが出来ました。個人的には数年振りにお会いしたお父さんからは「全国おやじの会を開催しようよ!」との話があり、親もまた長く係わって行く中でどこかに居場所を求める気持ちがあることは、私だけではないことを改めて感じました。最後は会長の三輪さんがメの挨拶をされお開きとなりましたが、名残の尽きない方々ほぼ全員で二次会へと向かいました。藤本

## けやき八王子

### 講演会を終えて

八王子自主活動グループでは、10月3日(土)に、「自立した社会人を目指して」～学齢期からできることを考えよう～と題して八王子市北野市民センターにて講演会を開催しました。保護者・学校の先生・通級の先生・支援員等、87名の方々が足を運んでくださいました。

講師は、八王子市立南大沢中学校 中村泰子先生と、都立南多摩地区学園開設準備室 市村たづ子先生のお二人をお招きし、コーディネーターを八王子市教育委員会 海野千細先生にお願いしました。

発達障害とその周辺の子どもたちにとって将来の自立は大きな目標です。その目標に向け、学齢期から積み重ねていけることを、現場の先生方にお話ししていただき、質疑応答を交えながら一緒に考えようという内容でした。

中村先生からは、現在勤務していらっしゃる中学校での特別支援教育について、校内のシステム作りから実践内容を例にあげてわかりやすくお話していただきました。

市村先生からは、現在の雇用状況や支援者として大切にしたいこと・今から育てたい力など、家庭で幼い時から積み上げていくことの大切さをお話していただきました。小学校～就労まで繋がっていることは頭では理解していたつもりでしたが改めて再確認することができた方も多数いらしたようです。

コーディネーターの海野先生からの「自立というのは何でも一人でできるようになることではなく、周囲の力も借りながら生活していけることなのではないでしょうか」というメッセージが、とても心に響いたという感想もいただきました。

参加した保護者の方々は6歳～13歳ぐらいのお子さんをおもちの方が多かったので、将来にむけて少し見通しが持てるような内容の講演会になり、よかったと思います。講演会当日の受付・会場準備などお手伝いくださった皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

八王子自主活動グループ一同



## ■自主グループ報告・けやき八王子■

### アートワークショップ開催 (6月20日(土)・長池公園自然館 工作室)

絵画塾「クレヨンマジック」の相澤るつ子さんをお招きして「アートで気持ちを開放しよう！」というテーマで、親子向けのアートワークショップを開催しました。クレヨンや粘土を使った活動を通し、自分の気持ちを自由に表現できる楽しいひと時を、体験することができました。



## ■自主グループ報告・ポーレポーレ■

### ポーレ ポーレ

#### 【前期の活動】

- 4月 川越散策
- 5月 室内活動 (ゲーム・クイズ等)
- 6月 室内活動 (近況報告・クイズ・ゲーム・夏の宿泊や野球観戦についての話し合い)
- 7月 野球観戦 (西武ドーム)
- 8月 宿泊活動 (横浜 横須賀方面)
- 9月 室内活動 (夏休みの報告・ゲーム等)

#### 【後期の予定】

- 10月 高尾山登山
- 11月 調理
- 12月 ボーリング・カラオケ
- 1月、2月、3月に関しては未定です。

中学一年生の子供たちを中心としてはじめてこの活動も10年目に入り、子供たちの年齢層も10代後半から20代前半になっております。大学・専門学校への進学、就職活動、転職の時期を迎えている子供たちがほとんどですが、なかでもこの世の中の不況のあおりをもろに受けているのが、就職活動、転職活動の中にいる子供たちです。生きづらさを抱えているこの子供たちにとって、今の時代はとて大変であり、辛い状況にあると思います。

こんな時代だからこそ、このポーレポーレを10年前にはじめて時の、遊びの場としての姿勢を崩さずに続けてきたことは、間違っていないのだな!と思います。年齢が上がれば参加人数も減ってくる事は予想しており、実際に前年度よりは確かに減っております。しかし、この場は来たいときに来る、それでいいと思っております。こんな感じで「ゆっくり・ゆっくり」今後も続けていけたらと願っております。

岡部

ポーレポーレは、昨年同様ボランティアの方と活動リーダーを中心に、毎月第2日曜日を基本日として活動しています。



## キャリア教育講座 Wing



### 第3回講座 ・ 6月28日(日) 東京都多摩社会教育会館

#### ・テーマ『履歴書について』

講師のハローワーク渋谷・加藤統括職業指導官より履歴書についてのお話を聞きました。用意してくださった求人票から希望のものを選び、その会社に応募するつもりで「応募の理由」を考え、書き込みました。一人一人発表しながら、参加している仲間・親たちの質問や意見を聞き、講師からのコメントを頂きました。

### 第4回講座 ・ 7月12日(日) 東京都多摩社会教育会館

#### ・テーマ『面接にむけたマナーの基本を学ぶ』

(株)いなげやの人事担当者の石川氏を講師にお招きしました。仕事はコミュニケーションからはじまるという話はとてもわかりやすく、親子で話し合う場面やボランティアさんとの面接練習などもあり、楽しみながらも緊張感をもって取り組めた。

### 第5回講座 ・ 8月21日(金)～22日(土) 多摩スポーツセンター(多摩市)

#### ・テーマ『企業見学と合宿』

親子・講師・ボランティアスタッフなど30名の参加者たちは、この連日のきびしい残暑よりさらに熱い活動に取り組みました。

1日目の企業見学には、多摩市にある(株)ベネッセビジネスメイトを訪問させていただきました。会社概要の説明の後、実際の現場を見学し、工作中的の社員の方から直接仕事内容や工夫されている事など伺うこともできました。午後からは宿舎にて、東京障害者職業センターの那須指導官に助言をいただきながら、見学のとめをし、「会社ってなんだろうね」というテーマでお話いただきました。

2日目は、施設で就労担当をされている高田氏の指導で、高校生6名は先に実施した企業体験の報告、中学生3名は昨日の企業見学の報告をするというテーマで、そのプレゼンテーション資料の作成に取り組み、発表することができました。

### 第6回講座 ・ 9月6日(日) 国分寺労政会館

#### ・テーマ『ビジネスマナーを学ぶ』

電話対応の実際～5W3Hを使って話そう～という内容で、(株)キューピーあい湯田社長に講師をお願いし、電話では相手が見えないので、ゆっくり・はっきりとした声で話すこと、あらかじめ話す内容を整理しておくことなどを学習した。

「企業実習に向けて事前にご挨拶の電話をかける」という設定で実習もしました。

### 第7回講座 ・ 10月18日(日) 国分寺労政会館

#### ・テーマ『PATHを使ってコミュニケーションを学ぶ』

「株式会社たすく」代表 斉藤宇開氏の指導の下、今回の夢(アイドルマスターになる・スキーマの資格を取って子どもに教える・天文学者になってノーベル賞を取る)に向かっての作戦会議を、熱く粘り強く繰り広げることができた。仲間意識が育っていることを感じられた講座となりました。



## 「Wing」日本LD学会で発表

日時 平成21年10月10日(土)～12日(月)

会場 学芸大学・小金井キャンパス

テーマ 「発達障害の生徒と親によるキャリア教育の実践」

10月10日～12日に学芸大学・小金井キャンパスにて開催された日本LD学会第18回大会に於いて、キャリア教育講座Wingが「発達障害の生徒と親によるキャリア教育の実践」をテーマに、自主シンポジウムとポスター発表に参加しました。

シンポジウムでは、発足当初からWingをご指導くださっている松為信雄氏(神奈川県立保健福祉大学教授)にコーディネーターをしていただきました。進行は会場の参加者との対話を大切にしながら進められ、発表者も参加者も一緒になってキャリア教育について考えることができました。

Wingからは、講座全体の説明・経過などをグループ代表の新堀さんから発表があり、続いて講座の運営の具体的な内容と受講者の様子を、実際に親子で参加している小形さんが発表しました。Wingの受講生でもある息子さん(高校1年生)の発表もあり、自らの言葉でWingに対する想いを元気に話すことができました。最後にWingの受講生たちのお兄さんのような立場で、また支援者としての勉強のためボランティアとして関わってくれた大平さん(熊本障害者就労支援センター)からの発表がありました。その後の参加者との活発なやり取りを通して、キャリア教育の関心の高さを窺い知ることができました。ポスター発表では、ボランティア寺田さん、庄司さんの素晴らしい発表がありました。ポスター会場での評判もよく、550部用意した配布資料が全てなくなり、キャリア教育が注目されていることを肌で感じとる機会を得ることができました。

来ていただいた多くのボランティアさん方と一緒に、良い発表が出来たと思います。今後は、本年度のまとめに向かって進む予定です。協力をしていただける方を改めて募集しますので、よろしく願いいたします。

昨今の不景気は発達障害者にもかなり影響が出ているようです。先日の企業の集まりでは「親会社の影響は受けざるを得ない」という声も聞かれました。また、保護者と会社のトラブルも発生しているとのこと。特別支援教育が始まり、親の声も届くようになりましたが、学齢期の環境を就労生活にあてはめると、我が子の社会生活が遠くなってしまう結果になる可能性が出てきます。Wingでは、就労の世界を親も一緒に理解するという目的もあり、今後は、他の会で希望があれば、プログラムを提供していきたいと思っております。

新堀





今号から、新しい企画として「散歩道」というタイトルで、会員の皆さんの自由記述欄を設けました。T. Kさん、第一号になっていただきありがとうございます。会員の皆さん！今後ともどしどし、ご投稿くださいますようお願いいたします。

## わが子の職場実習に思うこと

息子は中学3年生です。小学校は通常学級で6年間過ごし、中学校は自分で進路を決めて特別支援学級に入学しました。特別支援学級は通常級とは異なり、障害の重い子も多く、行事も次々あり慣れることに大変時間がかかりました。

そのような状況の中、2年生でソフトテニス部に入部し、平日も土日も夏休みも練習に明け暮れチームメイトに恵まれ、たくさんの大会・都大会へも参加することができました。

3年生になると職場実習があり、本来なら1箇所の体験になりますが、ラッキーなことに自転車店1日とフランス料理店で3日実習させていただいたのです。

フランス料理店では、気がつかず不器用な息子が働けるのか心配で仕方ありませんでしたが、本人はやる気満々で出かけていきました。

自転車店では、開店前の準備・清掃・接客等の手伝い、若い店員さんの中での実習はお客さんに店員と間違われて声をかけられドキドキすることもあったそうです。自転車店での実習は好きな自転車の中で仕事ができ楽しかったようです。

フランス料理店では3日間の実習でした。

1日目は、開店準備・皿洗い・コーヒーの注ぎ方・オーダーの受け答え、2日目は野菜のカット・客への料理の説明、3日目にはまかないのカレーライスを作りお店の方に食べていただきました。

2日目に私もお店に伺い、息子の働く姿を見ながら食事をいただきました。家や勉強で見せる姿とは別人のように目をキラキラさせて意欲的に働く息子はまぶしく見えました。

夏休みにはフランス料理店での体験を活かし、冷やし中華・カレーライス調理や皿洗い等手伝ってもらいました。

この職場実習で理解ある大人の中で共に働くよろこびとたのしさを感じ、これからの生活・進路に活かしてもらいたいと思います。

まだまだ未熟な息子ですが、関わっていただいた方々に感謝し、息子の自立を支えたいと思います

T. K



# お知らせコーナー

## 就労部会・定例会の開催

日時 10月27日(火) 10:30~13:00

会場 都多摩障害者スポーツセンター・第3集会室 ぜひご出席ください

## 「東京LD親の会連絡会」主な活動報告・予定

### 【報告】

1. 8月9日・9月20日\*連絡会を開催  
東京都への要望書の検討  
障害者就労支援センター訪問調査の件、講演会の件等協議

2. 8月18日\*東京都知事宛に平成21年度の要望書を提出

### 【予定】

1. 11月4日\*東京都へ提出した要望書につき都の関係部署と懇談会
2. 10~12月\*都内の障害者就労支援センター50個所の訪問調査  
「けやき」は、都内13区と2市の障害者就労支援センターの他、就業生活支援センター2個所の訪問調査を担当します。会員の方々がお住まいの地域のセンターを調査するときには、ご協力をお願いします。
3. 平成22年1月10日・13時から17時・東京ウィメンズプラザにて  
\*「親の会連絡会」主催の講演会を開催しますので、開催の準備と講演の聴講等にご協力をお願いします。

### 講演会の内容

- (1)「ひとりのできる力を育てる」 ~支援技法と実践例~

講師：新潟大学教育学部教授 長澤 正樹 氏

- (2)「生きる力をつける教育」

講師：東京都教育庁指導部主任指導主事 太田 裕子 氏

## 12月役員会・入会相談会の開催

日時 12月29日(土) 13:00~16:30

場所 東京都多摩社会教育会館 201研修室

\*入会のための相談会 13:00~14:00

「N.P講座つくし」の活動もあります。

参加者募集中

\*役員会 14:00~16:30



## ■お知らせコーナー■

【ご案内】

### 日本発達障害者ネットワーク(JDDネット)第5回年次大会

<大会メインテーマ> 発達障害：共に生きる豊かな明日  
～理解の段階から、個性尊重の社会の実現を目指して～

日 時 12月12日(土)～12月13日(日)  
会 場 成蹊大学(JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」よりバス5分)

参加申込、プログラム等の詳細は、日本発達障害者ネットワークのホームページ(<http://jddnet.jp>)をご覧ください。

### 「けやき」では年間を通して入会を受付けています

入会金 2000円

年会費 5500円

会員募集中



例会、役員会の会場に直接お出かけください。

詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>にてご案内していますのでご覧ください。

賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。

### 編集後記

金木犀が香り、風に舞って落ちた葉が秋らしい庭になってきたわが家に今、朝顔の花が咲き(乱れ?)、二階のベランダまで伸び茂った葉の間には、まだまだ沢山の蕾が控えています。今年初めて挑戦した「緑のカーテン」が、その効果を期待した7～8月ではなく、今になって頑張っているのです。(もう日陰のほしい季節ではないのですが・・・) どうか、植え付け時期が遅かったとか、途中の摘心や蔓の誘導が適切でなかったなどの理由が考えられるようです。虫がついたり病気のような時もありましたが、それら乗り越えて堂々と成長しました。朝顔は夏、というイメージがあったのですが、ちょっとばかり季節外れでも、まあいいかなと思います。何だかわが家の息子たちと似ているようで、けなげに頑張っている姿に毎日エールを送っている今日この頃です。



三輪